

小牧源太郎
Gentarō Komaki



1.

《狐神図（稻荷図 No.4）》の素描，1948年頃，鉛筆，色鉛筆 / 紙，市立伊丹ミュージアム蔵

日本のシュルレアリスムの草分けのひとりであり、時流に揺らぐことなく独自の思想と画風を貫き通した画家・小牧源太郎（1906–89）。生涯、京都で制作をつづけた小牧は、戦前の「初期シュルレアリスムの時代」から発し、仏教美術を創作の源とした「仏画的時代」、土俗信仰にみる人間の本能を超現実的に描いた「土俗信仰的時代」、そして独特の宇宙論的世界の探求を試みた「宇宙空間的時代」と創作を展開させながら、独自の理論を深遠な絵画世界のなかで表出しました。それは、めまぐるしく移り変わる社会と混濁する世界に生きながら、自分に内在する無意識の領域と、自分を取り巻く非合理的な現象を追求しつづけた軌跡でもあります。

本展では、市立伊丹ミュージアムが所蔵する作品資料を中心に、初期から晩年までの油彩画、下絵、構想スケッチおよそ100点を紹介し、50年にわたる画業のなかで小牧が追求した創作と思想の軌跡を紐解きます。

つきましては、展覧会開催の周知におきまして皆様のご協力を賜りたくご案内申し上げます。

展覧会名：「小牧源太郎 生きとし生けるもの」

会期：2023年1月14日（土）～3月5日（日）

休館日：月曜日

開館時間：10:00-18:00（入館は17:30まで）

会場：市立伊丹ミュージアム 展示室3・5

観覧料：一般500円、大高300円、中小200円

主催：市立伊丹ミュージアム [伊丹ミュージアム運営共同事業体 / 伊丹市]

展覧会担当：岡本 梓 / 学芸員（主査） okamoto@itami-im.jp / 072-772-7447(tel)

広報連絡先：市立伊丹ミュージアム広報担当

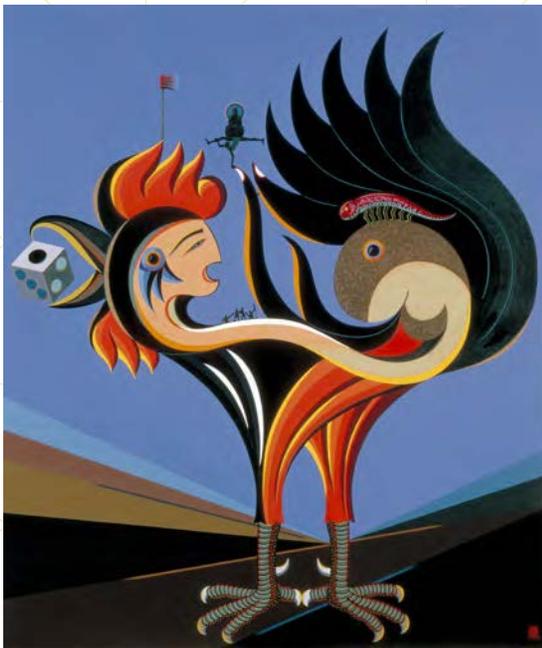
gakugei@itami-im.jp / 072-772-7447(tel) / 072-781-9090(fax)

出展作品の一部（広報用画像）



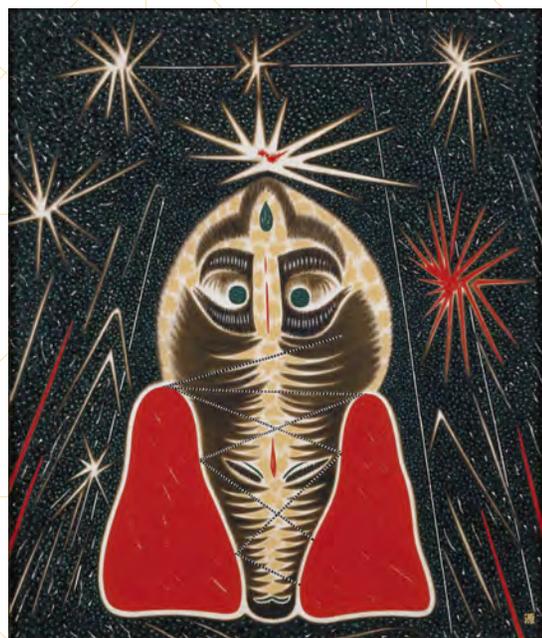
2.

《オシラ神図(2)》1948年，鉛筆 / 紙



3.

《紗鶏》1950年，油彩 / 画布



5.

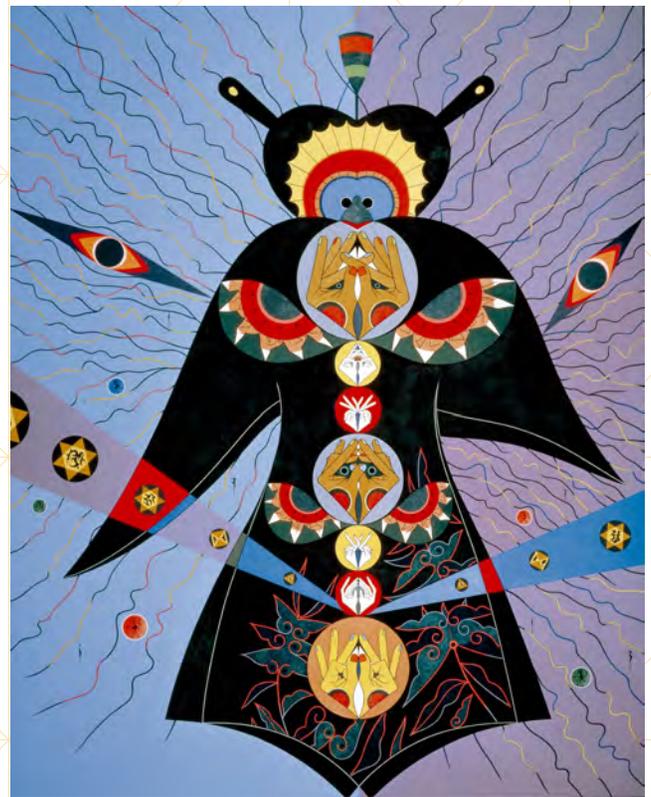
《エスピリト・サント No.3》1959年，油彩 / 画布

小牧源太郎
Gentarō Komaki
生きとし
生けるもの
All Living Things



4.

《道祖神図 No.2》1950年，油彩 / 画布



6.

《陀羅尼変》1976年，油彩 / 画布

全て「市立伊丹ミュージアム蔵」

広報用画像およびチケット掲載の申込書

市立伊丹ミュージアムにて開催する「小牧源太郎 生きとし生けるもの」展にて、貴媒体での掲載にあたり画像をご入用の際は下記にご記入の上、FAX かメール : gakugei@itami-im.jp にてお申し込みください。

画像 (別紙プレスリリース参照)

※ご使用の際は下記キャプションとクレジットを明記してください。

※部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理は禁止されております。

※掲載記事の提出をお願いします。

※掲載スペースの関係上、以下のキャプション全てを表記できない場合は、技法 (例 : 油彩 / 画布) は表記なしでも大丈夫です。

<input type="checkbox"/>	1	《狐神図 (稻荷図 No.4)》の素描, 1948 年頃, 鉛筆, 色鉛筆 / 紙, 市立伊丹ミュージアム蔵
<input type="checkbox"/>	2	《オシラ神図 (2)》1948 年, 鉛筆 / 紙, 市立伊丹ミュージアム蔵
<input type="checkbox"/>	3	《紗鷄》, 1950 年, 油彩 / 画布, 市立伊丹ミュージアム蔵
<input type="checkbox"/>	4	《道祖神図 No.2》1950 年, 油彩 / 画布, 市立伊丹ミュージアム蔵
<input type="checkbox"/>	5	《エスピリト・サント No.3》1959 年, 油彩 / 画布, 市立伊丹ミュージアム蔵
<input type="checkbox"/>	6	《陀羅尼変》1976 年, 油彩 / 画布, 市立伊丹ミュージアム蔵

告知用のチケットプレゼント 名分 (最大 5 組 10 名)

※ メディアでのチケット告知用に限り、必ず掲載記事を市立伊丹ミュージアムに提出することを提供条件とします。

※ 転売や違法売買は一切禁止いたします。不正が判明した場合、該当チケットは無効となります。

媒体名 :	掲載日 :
御社名 :	ご担当 :
Mail :	
TEL :	FAX :
住所 :	